

平成28年度 学校経営計画及び学校評価【城星学園幼稚園】

1 めざす学校像

城星学園は、カトリックの精神に基づき、創立者聖ヨハネ・ボスコ（ドン・ボスコ）の教育理念である『道理』と『信仰』と『愛』に根ざした教育法によって、園児、児童、生徒の全人間教育に励み、神を敬い、人を愛し、自然を大切にする『良心的な人間、よき社会人』を育成することを使命としています。

「教育は心の問題であり、青少年を愛するだけでは足りません。
青少年が愛されていると感じられるように彼らと共に生きる」

2 中期的目標

- 1 アシステンツァを実践する
 - ① キリスト教精神に基づく教育活動の実践
 - ② 教職員対象のカトリック教育
 - ③ 祈りの習慣付け
 - ④ 保護者の啓発
- 2 「園児・児童・生徒の安全」管理を徹底する
 - ① 危機管理及び防災備蓄体制の確立
 - ② 実地訓練の充実
 - ③ 安全管理体制の公開及び発信
- 3 『「良心的な人間、よき社会人」を育成する教職員』を育成する
 - ① 社会人教育の実践
 - ② 社会貢献活動の展開
 - ③ 教育活動従事者としての意識と技術の向上
- 4 幼稚園ブランディングプロジェクトを推進する
 - ① 「オラトリオの心」ドンボスコの心を知り、深める
 - ② 幼稚園ブランディングプロジェクトの推進
- 5 自然に挨拶が交わせる学園にする
 - ① 教職員間のコミュニケーション円滑化
 - ② 園児・児童・生徒、保護者への挨拶の励行
 - ③ お客様、業者への挨拶の励行

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

7. 自己評価アンケート結果と分析	4. 学校関係者評価委員会からの意見
<p><評価が相対的に高かった項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園の行事が楽しい ○幼稚園の教育方針に共感できる ○幼稚園の教育目標に共感できる ○幼稚園に満足している ○基本的な生活習慣が身に付く生活指導を行っている <p>(すべて満足度95%以上)</p> <p><評価が相対的に低かった項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもの応用力が養われている ○地域との連携を積極的に図っている ○幼小中高の連携が取れている 	<p>学校法人城星学園学校関係者評価委員会は理事会・後援会（保護者）・各学校種管理職・評議員（学識経験者）により構成されている。平成28年度学校評価に関する検討は平成29年7月6日（木）に行われた。</p> <p><意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ○アンケート全般について <ul style="list-style-type: none"> ・ 評点、コメントともに高く評価されていることが分かる。 ・ 満足度の高い項目は学園の考え方、取り組み方が評価されている結果だ。 ○教育内容について <ul style="list-style-type: none"> ・ 年少時から自分でできることはさせ、子どもの考える力を十分引き出している。先生の話もじっと聞くことができおり、落ち着いた雰囲気である。 ○安全管理について <ul style="list-style-type: none"> ・ 流行している病気を教えてほしいという保護者のご意見を伺うことがある。適切なタイミングでの情報提供を要するものと考えます。 ○取組の改善について <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート結果を受けて、預かり日程や時間帯について再考し、保護者ニーズに合うよう改善したところ、保護者各位より評価いただいている。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 アッシステント を実践する	共に育つ（愛されている私たち 大切なひとりひとり）	ア) 自然を大切にすることと豊かな感性を育む イ) 遊びの環境づくりを行う カ) 神を知り、祈りと感謝の心を育てる エ) 子どもを愛情深く見守る	学校評価アンケート結果を評価指標とし、それを踏まえて自己評価を実施することとする。 設問「子どもの自然を大切にしようとする気持ち、物を大切に扱う行動などが見て取れる」のA・B評価が80%以上。 設問「いろいろな活動に興味や関心を持ち、意欲的に取り組むようになった」のA・B評価が80%以上。 設問「教育方針に沿った教育を行っている」のA・B評価が80%以上。 設問「教職員は子どもにあたたかい態度で接し、信頼関係を築いている」のA・B評価が80%以上。	イ) A・B評価 78.0%。様々な活動に追われがちになり、自然に目を向けるゆとりと関心がやや薄くなってしまった。(△) イ) A・B評価 95.0%。教材研究を行い保育に取り入れることで、自由に活動する姿が見られた。(◎) ア) A・B評価 93.7%。宗教の話や行事の企画を充実させることができた。(◎) エ) A・B評価 95.0%。いろいろな場所や活動の中で、教師の存在があった。真の意味での愛情深い教育的な見守りができるようさらに努める。(◎)
2 園児・児童・生徒の安全 管理を徹底	安全教育を実施する	ア) 消防署員を講師として防災訓練を実施する イ) 危険な場所や危険な遊び方を知り、安全に気をつけて遊ぶ力を培う カ) 施設設備の安全管理を徹底する	設問「子どもたちへの安全教育を実施している」のA・B評価が80%以上。 設問「自分で遊びを見つけ、熱中して遊ぶようになった」のA・B評価が80%以上。 設問「園の施設・設備は、安全管理が行き届いている」のA・B評価が80%以上。	ア) A・B評価 93.7%。実際に消防士の話を聞き、消防車を見たり、煙の体験をしたりしたことで、子どもにとってよい刺激となった。(◎) イ) A・B評価 91.8%。日々の活動の中で、危険な場所、遊び方に気付かせることで、子ども自身で自分で気付くとともに、友達に伝える姿が見られた。(◎) カ) A・B評価 91.8%。施設、遊具の点検日を決めて取り組むことで、安全面を意識して周りに目を向けて過ごすことができた。(◎)
3 社会人 を育成する 良心的な人間、よき教職員	園児、教員ともに挨拶をはじめとした基本的な生活習慣を身に着ける	ア) 子どもたちの基本的な生活習慣を確立する イ) 教職員の基本的な生活習慣を確立する	設問「子どもにも基本的な生活習慣が身に付くような生活指導を行っている」のA・B評価が80%以上。 設問「教員の心配りが行き届いている」のA・B評価が80%以上。	ア) A・B評価 95.6%。意識的に指導を充実させたことが評価された。ただ、まだ個人差もあるため、引き続き努力が必要である。(○) イ) A・B評価 89.3%。行動レベルでの問題はなく、子どもたちに対する配慮も十分なされている。精神性の向上にはなお課題が残る。(○)

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
4 幼稚園プラン 推進する プロジェクトを	予防教育法をなお一層研究し実践する	ア)自分で考えて判断し、行動できるようになる イ)誰かのために自分のもっている力を使うことの大切さを知る カ)保育者と共に季節の移ろいを感じ取り、小さなことに感動しながら感性をみがく	設問「自己の課題に向けて全力で挑み、解決しようと努力できるようになった」のA・B評価が80%以上。 設問「友達と一緒に遊ぶことを心から喜び、積極的に関わることができるようになった」のA・B評価が80%以上。 設問「子どもの感性が磨かれていると感じる」のA・B評価が80%以上。	ア)A・B評価 81.1%。伸びてきた面を認めることで、自信を持ち、積極的に取り組んでいた。更に自信が持てるよう様々な活動に挑戦できる場を設定していきたい。(○) イ)A・B評価 89.9%。友達との様々な経験を通して、相手を思いやり、危険な事を避けようとする姿が見られた。(◎) カ)A・B評価 84.3%。周囲の様々な変化を共有し、製作活動にも季節感を取り入れることで、季節のイメージを広げることができた。(○)
5 自然に挨拶が 交わされる学	挨拶・会釈の始動を充実させ、教職員自身の挨拶を励行する	ア)教職員間で挨拶を励行する イ)園児に対し挨拶・会釈の指導を行い励行を促す	設問「幼小中高の連携が取れている」のA・B評価が80%以上。 設問「教職員は、気持ちの良い挨拶を行っている」のA・B評価が80%以上。	ア)A・B評価 50.6%。子供や保護者に対しては挨拶ができてはいるものの、教員間で明るく挨拶をかわすことにはさらに相当の努力が必要である。(×) イ)A・B評価 93.7%。保育者自身が手本となり、親しみをもって交わることができている。(◎)